

# LTE WiFi USB Dongle お願いと注意事項

## はじめに

このたびは、「LTE WiFi USB Dongle」（以下、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に「スタートアップガイド」、「お願いと注意事項」（本書）、「取扱説明書（\*1）」をお読みいただき、正しくお使いください。  
また、お読みになった後は大切に保管してください。  
本書では、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示します。

\*1:本製品には同梱しておりませんので、ご購入の事業者のウェブサイトなどで参照/ダウンロードしてください。

## ご利用いただくにあたって

- 本製品の通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本製品が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
- 本製品は無線を使用しているため、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）、電波状態の悪い場所ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波状態が良い状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。
- 本製品は電波法に定められた無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方のご迷惑にならないようご注意ください。

## 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書および取扱説明書の記載内容を守らないことで生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、お読みになった後は大切に保管してください。  
この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

## 表示記号の説明

各事項は以下の区分に分けて記載しています。

### ■ 表示の説明

	死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	傷害を負うことが想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### ■ 図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		

## 本体について

### 危険

- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災・発火・破裂・故障・けがの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。火災・発火・破裂・故障・けがの原因となります。
- 分解や改造、修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。万一、改造などにより本製品やパソコンなどに不具合が生じても一切の責任を負いかねます。
- 水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。また、風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しなないでください。火災・故障・感電・けがの原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。  
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

### 警告

- 通信中に長時間触れたまま、またはポケットに入れたまま使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。
- 強い力や衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。発火・発熱・破裂・漏液・故障の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、使用しないでください。爆発・火災・故障の原因となります。
- 本製品内の挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・けがの原因となります。
- 本製品が破損したまま使用しないでください。火災・感電・やけど・けがの原因となります。
- 通信中に紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・故障・やけどの原因となる場合があります。
- 本製品のUSBコネクタを接続する際は、無理に力を加えないでください。火災・故障の原因となります。
- USBコネクタの端子をショートさせないでください。火災・感電・故障・やけど・けがの原因となります。
- 可燃性ガスを使用したスプレーにより、本製品の内部に可燃性ガスを送り込まないようにしてください。火災の原因となります。
- 本製品が落下など強い衝撃により破損し、内部が露出した場合は、露出部に手を触れないでください。感電・やけど・けがの原因となります。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- USBコネクタについたほこりは、拭き取ってください。火災・感電・やけどの原因となります。
- 使用中に煙、臭異、異音、過剰な発熱などの異常が起きたときは使用をやめてください。そのまま使用し続けると、発火・発熱の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電の原因となります。
- 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認ください。
- 注意
  - ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下して故障・けがの原因となります。
  - 次の場所には、設置及び保管しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
    - ・強い磁界、静電気が発生するところ
    - ・振動が発生するところ
    - ・ほこりの多いところ
    - ・平らな面でないところ
    - ・直射日光に当たるところ
  - SIMカードスロットカバーを外すとき、無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。SIMカードスロットカバーが破損する原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、靴の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障の原因となります。
  - 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となる場合があります。
  - 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。
  - お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

## SIM カードについて

### 警告

-  SIM カードを折ったり、曲げたり、傷つけたり、濡らしたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
-  SIM カードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

### 注意

-  SIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようご注意ください。
-  SIM カードは指定以外のものを使用しないでください。
-  SIM カードの IC 部分への不要な接触は避けてください。データの消失・故障の原因となります。

## 医用電気機器近くでのお取扱い

### 警告

-  医療機関の屋内では次のことに注意してください。
  - 手術室、集中治療室 (ICU)、冠動脈疾患監視病室 (CCU) には本製品を持ち込まないでください。
  - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
  - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
-  植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、本製品は装着部から 15cm 以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-  自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-  身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近く恐れがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください (電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 取り扱い上のお願い

### 本体について

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まったカバンの中に入れて、中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりすると内部基板などの破損、故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障。破損の原因となります。
- 本製品をパソコンへ接続した状態で、パソコンをカバンやケースに収納しないでください。
- 本製品を使用しないときは、必ず USB プラグを収納して保管してください。ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、正常に動作しない場合があります。
- お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、本製品に傷がつく場合があります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 本製品は防水仕様ではありません。そのため、風呂場など多い場所、雨や雪などに濡らさないよう十分にご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
- 急激な温度の変化による結露で内部が腐食し、故障の原因となります。
- 極端な高温・低温・多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品をパソコンや USB AC アダプタに接続する際は、正しい方向に無理なく接続してください。逆方向に接続、または違和感がある状態で接続すると、故障の原因となります。
- 本製品はパソコンに接続すると通信状態でない場合でも電力を消費します。通信しないときは、できるだけ本製品をパソコンから取り外してください。

- パソコンの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、ご使用ください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘盤シールに表示されております。本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いします。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

## SIM カードについて

- SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上の力を入れしないでください。
- SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- IC を傷つけたり、不注意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- IC (金属) 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。
- SIM カードの取り付け／取り外しは、本製品を電源から取り外した状態で実施してください。

## 無線 LAN について

- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気や電気雑音を受けると、雑音が大きくなり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 無線 LAN (WLAN) を海外で使用する場合、ご使用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご使用ください。
- 無線 LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

## 2.4GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (WLAN) は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変更するかまたはご使用を中止して、電波干渉をないようにしてください。
3. その他、本製品から移動体識別用構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご契約時のご案内、契約書に記載された問い合わせ先へ連絡してください。本製品の裏面に以下のシールが貼り付けられています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 DS/OF 4	2.4	周波数 2400MHz 帯を使用する無線設備を示します。
■ ■ ■ ■	DS	変調方式が DSSS 方式であることを示します。
	OF	変調方式が OFDM 方式であることを示します。
	4	想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。
■ ■ ■ ■		2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

## データ通信端末の比吸収率 (SAR) について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準 (\*1) ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W / kg です。このデータ通信端末の SAR の最大値は 1.894W / kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。通信中は身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ：  
[http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts\\_press/fact\\_japanese.htm](http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)  
また、SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。総務省のホームページ：  
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/e/index.html>  
一般社団法人電波産業会のホームページ：  
<http://www.arib-emf.org/index02.html>

\*1: 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

■ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
■ Wi-Fi、WPA、WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。  
■ その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。  
■ 本製品に関する問い合わせは、ご契約時のご案内、契約書または保証書に記載された問い合わせ先へ連絡してください。  
■ 本書の内容は予告無しに変更することがあります。